

公立置賜総合病院救命救急センターの状況について

1 概要

- (1) 施設名 公立置賜総合病院 救命救急センター
- (2) 救急病院認定年月日 平成12年10月25日
- (3) センター運営開始年月日 平成12年11月 1日
- (4) センター運営形態 併設型
- (5) センター運営病床数 20床(ICU 8床、HCU 12床)

2 医師の体制（令和5年度）

- (1) 平日日勤帯
医師は4人体制(+研修医)及び全科でオンコール対応。非常勤救急応援医師対応。
- (2) 休日日勤帯
医師は4人体制(+研修医)及び全科でオンコール対応。
- (3) 夜間
医師は3人体制(+研修医)及び全科でオンコール体制。
平日隔日で午後7時から10時までの3時間、医師会から医師1人の応援体制あり。

3 患者動向（令和5年度）

- (1) 地域別では構成団体(長井市、南陽市、川西町、飯豊町)で70.6%を占めている。
- (2) 科別では割合が高い3科(内科、整形外科、小児科)で65.1%となっている。
- (3) 外来、入院ともに80歳代の患者が多い。
- (4) 1日平均患者数は50.0人(平日平均45.9人、休日平均58.3人)となっている。
- (5) 患者態様別では、一次救急患者数(外来診療のみ)が13,661人(74.6%)、二次救急患者数(一般病棟入院患者)が3,109人(17.0%)、三次救急患者数(救命病棟入院患者)が1,542人(8.4%)となっている。
- (6) 救急車搬送数は1日平均12.8人(全患者数の25.6%)となっている。
- (7) 外来患者数は、R4年度18,269人に対してR5年度18,312人と43人増加した。内訳は、一次患者が24人減少、入院患者(二次+三次)が67人増加。